

# 大町病院を守る会会報

No. 43

2015年10月発行

大町病院を守る会

発行責任者北村喜男

## 10月5日から産科分娩再開しました 海野隆彦先生が着任 内科には塩澤良一先生が着任 大町病院で 安心して受診を

【一部既報】大町病院で分娩ができるようになりました。

9月に大阪より海野隆彦先生が常勤で就任され、深松先生の復帰と非常勤医師がサポートする体制が整い、安心して出産ができるようになりました。

既に大町病院で出産したいとする希望者が相次いで来院しています。大北地域で4万8千筆を集めた「産科分娩再開要請署名」の熱い思いが市、県を動かし実現することができました。また、内科では塩澤良一先生が8月から着任し、診療されています。(次号で紹介します。)

大町病院の診療体制が少しずつ充実してきています。



海野先生



深松先生

### 海野隆彦先生からひとこと

はじめまして。9月より大町総合病院に着任しました。昭和46年奈良医大を卒業し阪大、大阪市立大で産婦人科を学び、昭和62年に大阪で開業。28年がたち一区切りと思い当地にやってきました、微力ながら、全力で医療に携わりたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 海野隆彦先生のプロフィール

出身地：大阪府大阪市

出身大学：奈良県立医科大学 昭和46年度卒業

専門医：産婦人科専門医、母体保護法指定医師

(分娩、婦人科腫瘍(良性)、子宮筋腫、卵巣のう腫等手術一般)

所属学会：日本産科婦人科学会

趣味：ゴルフ、チェロ演奏、囲碁(4級)、陶芸

お酒は：たしなむ程度、誘いは断りません。

お弁当は：自ら腕をふるっています。

医師を目指した動機：医師の家庭に育ち医療の道に自分も進みたいと思いました。



## 「初めてマツタケ採ったよ～」

### キノコ入り豚汁等、ご馳走で交流会

10月4日(日) 守る会・職員交流企画第3弾、「遊びとキノコ狩り・鍋で交流会」が、市内の大黒町共有林で行われました。病院玄関前に9時半集合し車に分乗し出発しました。居谷里水源地から東へ善光寺街道を600mほど入った大黒町の共有林で行われている「第11回里山がった祭り」と合流、楽しいひと時を過ごしました。参加者は高木先生家族、鳥居先生、研修医の藤代先生はじめ23名が参加しました。

現地到着後、渋田見博実行委員長、横澤大行祭り実行委員長の挨拶と飯島八郎県きのこ衛生

指導員の注意を受けた後、三班に分かれて山中にきのこを求め1時間半ほど歩きまわりました。とって帰ったきのこを飯島指導員に「食べられる」「これは毒」などと判定してもらいました。イグチ、ニンギョウ茸、モトアシ、一本カンコウ、シメジなどを取りそれぞれ持ちかえりました。平林秀子さんは「初めて採った」という松茸をゲットし、皆さんにうらやましがられていました。平林さんは「来年も又来るよ」とはっきり答えていました。



## ふるまいは豪勢に、ワイルドに

「がった祭り」実行委員会が前日から準備したキノコ入り豚汁、ますの塩焼き、焼きおにぎり、焼きたて巻きパン、ゆで卵やウインナー、

ちくわの燻製などの振る舞いを受けお腹をこしらえました。その後はマイ箸作り、丸太切り、コンサートなど様々なイベントを楽しみました。



# 来春は何色の花が咲くかな

剪定と草取り、花の球根を植えました  
プランターさんお疲れ様、冬ごもりです



10月24日（土）午前9時～10時30分まで守る会会員15名が集まり病院周辺の環境整備作業をしました。北村会長のあいさつの後作業に取り掛かりました。

まず、病院玄関前のロータリーにおかれたペチュニアの植えてあるプランター20個程を片付け、会員の倉庫の軒下に預けました。続いて2班に分かれての作業に移りました。

1班は東棟と南棟の間にできた花壇にチューリップ球根100球とクロッカスの球根60球ほどを植えました。色とりどりの花が咲くのが楽しみです。

# 剪定には栗林市議・神社市議（会員）が活躍

前回の環境整備作業に引き続き神社・栗林市議が参加されました。剪定作業は4月に継続します。



作業は順調に進み 10 時半には清水看護部長 差入れのリンゴの皿盛りをいただきお茶を飲み 交流、海川副会長のお礼のあいさつで散会しま した。

参加された皆さんは北村会長、駒沢、酒井、高 橋（袈）、黒岩、海川、西沢、松澤、小林、神 社、栗林、若林、齊藤、高橋の皆さんでした。

# ヒマラヤスギを伐採し空が明るく

9月27日（日）午前9時から11時まで病院駐車場わきにそびえていた25メートルの大ヒマラヤスギを伐採しました。守る会会員がかねてから見通しが悪く、新設のスロープ通路が日陰となり凍結する恐れが強いため伐採を提案していました。

十日会の皆さんが快くボランティアで伐採をしてくださいました。伐採にあたっては電話線などが通っており、細心の注意を払



伐採に取り掛かる参加者

いながら伐採を進めました。

伐採の跡かたづけを守る会がお手伝いし、根元が50cmにもなる太い幹は市内のストーブを使う方に薪として引き取ってもらいました。来年からは桜の花が見事に咲く姿が見えるようになります。

また、過去に伐採されて積まれていた枯木もきれいに片付けました。



空が広く明るく凍結は少なくなる

## 日程のお知らせ

11月15日（日）午前10時～ イルミネーションのセット作業

11月20日（金）午後18時～ イルミネーション点灯式

# 院内訓練、トリアージで災害に備える

9月13日（日）、午前8時30分から大規模地震災害に対応した大町病院の院内訓練が行われました。昨年に引き続き、大北地域災害医療本部（医師会等）や長野県内のDMATなどにも参加いただき、会場も施設全体を使い新しく建設された南棟「さくら」も患者が収容されて本格的な災害模擬稼働をしました。要請を受け守る会では会員を中心にトリアージの患者役として15人が参加しました。



## 市民ふれあい広場で大町病院ブースにぎわう

10月10日（日）市文化会館で開催された市民ふれあい広場で大町病院は今年も市民の健康への関心を高めるためのブースを設置しました。健康診断として血圧、血中糖度、体重e t cを測定し、市民の健康に対する関心呼び



起こしました。

また、広場では職員有志による「プニョプニョ」のすくい取りのボランティア活動がされ多くの子供連れ参加者が訪れてにぎわいました。

## 病院職員の皆さんを守る会と情報の共有を・・・ 守る会へ加入ください！ 協働の力で経営危機を脱出しよう

守る会では会報の発行を通し経営危機にある大町病院を守るために微力ですが応援をしてまいりました。その結果270人余の個人・団体の住民の皆さんが会員となり情報を共有しながら、できるところで、できることを自主的に取り組んできました。会の運営を熱心に支えてくれている職員がいる一方で、病院内の会員は少なく会の取り組みや情報がほとんど伝わっていないと思われます。一生懸命医療の仕事についてお疲れとは思いますが、会報を通して、少しでも守る会の存在を知っていただき、協働の病院づ

くりを進めていただければと思っています。会報購読には、年1000円で会員となっていただき、作業等はできるときできる方が自主的に参加し、強制はしない自主組織です。会報は年6から7回発行しています。ぜひ会に加入ください。そして市民との協働の力で大町病院の経営危機を乗り越え、再建しようではありませんか。市議会ではこれまで病院赤字の対応について質問が何度もされています。このままでは心配です。

### ☆会費納入者

西沢ひろみ 平林延彦 白沢千代子 大日方宗仁 平林千里 若松正枝の皆さんありがとうございます。

### ☆新規加入者

清水真弥 清水香代子 西沢千文 井上善博さんが加入されました